学校給食における牛乳のストローレスパックへの移行について

## I 概要

「プラスチック資源循環促進法」が令和 4 年度施行され、脱プラスチックに向けての社会の動きが加速しています。

大阪府では、学校給食用牛乳パックのストローレス化の方向性が示され、本市の牛乳供給事業者である協同乳業株式会社よりストローレスパックへの切替について申し出がありました。

これを受けまして、環境面、SDGsの観点から、令和6年度2学期から全小中学校で「ストローレスパック」の運用を開始するため、準備を進めます。

- 2 環境面・SDGS の観点から
  - \*ごみの減量化、プラスティックゴミの削減(ストローの廃止)
  - \*リサイクルの取り組み推進
- 3 ストローレスパックの導入
  - \*大阪府下統一で導入が決定 (令和5年度導入率:全国で約30%、大阪府下7%)
  - \*大阪府から牛乳業者へストローレスパックの導入について指示が出たため、本市牛乳業者から具体的な移行の期間が示された
  - \*本市は、茨木市と同時期に導入(同一牛乳業者のため)
- 4 プラスチックストロー廃止による脱プラ効果
  - (1) 小学校給食
    - 23,000 人×190 日/年×0.5 g =約 2,200 k g/年
  - (2) 中学校給食
    - 2, 300人(約9,000人×約25%)×190日/年×0.5g=約220kg/年
- 5 飲用方法
  - (1)直飲み(屋根型の片方を開いて、そのまま飲む)
  - ②コップを使用(家庭から持参し、毎日持ち帰り洗浄する)
  - ③紙ストローを使用
- 6 吹田市の飲用方法

## 直飲み

- 7 今後の対応
  - (1) 指導内容のパワーポイント又は動画の作成
  - (2) 飲み方のパワーポイント又は動画の作成
  - (3) 上述アイコンを「L-Gate」内に配信及び給食時間に投影の依頼
  - (4) 保護者への通知